

『2019年 目標 メイクドラマ』

新年あけましておめでとうございます。2019年みんないい年を迎えることができましたか？ 今年の目標は決められたかな？ 僕の独断ですが、今年のCocorodiningも目標は『メイクドラマ』にしたいなと思っています。

2018年は小伝馬町オープン、ラーメン事業仲間入りなど動きのある年でしたが、12月は周囲の飲食店からもあまりいい声を聴くことはなく、Cocorodining全体を見ても対前年、予算目標をクリアすることができず悔しい年末となってしまいました。

やはり、目標というのは達成すると嬉しいですしそれが対前年や過去最高！という言葉がついてくるとより一層興奮します。

メイクドラマといえば僕はここ何年か箱根駅伝を見る機会が多くなってきたのですが、今年の箱根駅伝も沢山のドラマと新記録のオンパレードでとても高揚しました！

今年の箱根駅伝はなんといっても青山学院大学の大会5連覇、史上初の大学駅伝2年連続3冠に注目が集まっていますが、それをなんと大会出場46年目にして初優勝の東海大学が10時間52分9秒の大会新記録で阻止するという大会になりました。

初記録はまだあります。それは今回の視聴率！なんと2日間の平均視聴率が31.4%で95回の長い歴史の中での歴代最高！過去の視聴率では昨年、03年が続きます。

テレビ離れが進む中での歴代最高視聴率にはびっくりさせられました。

沢山の記録更新やドラマで熱くさせられる箱根駅伝ですが、僕が今回注目したのは、95回の歴史の中でも最も難しいであろう記録です。

それは日体大がもっている36年連続シード権獲得という記録。

シード権といのは10位までに与えられるもので、11位以降の大学は予選を勝ち上がって出場権を獲得しなくてはなりません。大学は4年で選手が入れ替わりますから、どんなに強い選手が揃っても永続させるとなるとかなり困難となるのです。

当然優勝は難しいことでそれを青学のように4年間、5年連続にも挑戦となると大変な記録だとは思いますが、実は5連覇しているのは過去に3校あり、中央大学に至っては歴代

最高の6連覇という記録をもっているのです。

長い歴史の中ではやはり浮き沈みがあるのです。それを考えると日体大の36年連続シールド権獲得の凄さが伝わってきますよね。

何があって、36年も強豪校として居続けられたのでしょうか？
僕はそれに必要なのは「目標を達成したいという強い思い」なのだと思います。

その「思い」が目標という目に見える物になり、「目標」が次にチーム全員の共通のものとなること、共通の目標となったものが長く続くと、目標を追うことが「当たり前」となり
当たり前は「文化」となり大学に根付くのです。

このことを確かなことなのだと思うせてくれる言葉があります。

人は思いという種をまき、行動を刈り取る
行動という種をまき、習慣を刈り取る
また習慣という種をまき、人格を刈り取る。
そして人格という種をまき、永遠の運命を刈り取るのである。

やはり強豪校のスタートは思いを持つことからなのだったと思います。

この思いを僕たちで言うのなら経営理念とビジョンです。強豪校を各店だとするのであるとこの思いというのは各店ごとにあるストアビジョンとストアベクトルなのだと思うのです。

今年3月で卒業を迎えるメンバーも多いです。4月以降は彼らの思いも引継ぎ目標達成を目指していかなくてはなりません。そのうえで新たなメンバーをそろえることはもちろん大切なのですが、店舗毎に今一度ストアビジョンとストアベクトルを見直してみませんか？そして、2019年全店過去最高の売上を目指しませんか？

強いビジョンを全員でもつ！そして歴代記録を塗り替える！その感動が記憶に残るものとなり、後輩に引き継がれる！メイクドラマです。

2019年は飛躍の年となり更につよい会社になるでしょう！更に更につよい会社にはメイクドラマが必要です！是非みんなでメイクドラマしましょう！！

2019. 1. 3 松岡 保浩